

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 6 日

評価対象事業		評価者	総務課担当課長 高木 賢一郎	
総務-04	実施事業	事務管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 行政経営課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市職員等
意図	最少の経費で最大の行政サービスを提供するため。
効果	行政事務の適正な管理を行い、社会情勢の変化に即した組織の構築に努め、効率的かつ効果的な行政運営を行う。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

行政不服審査等に係る業務を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	200	160	当初予算(千円)	0
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	200	160	一般財源	0
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	
人件費(千円)	3,800	3,912	人件費(千円)	0	
事業経費運営	総事業費(千円)	4,000	4,072	総事業費(千円)	0
	市民1人当りの経費(円)	23	23	市民1人当りの経費(円)	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない	
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	協働	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 法制事務 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 法制事務に統合するため、本事業の予算はゼロとなる。	
総評(評価に対する考え方、根拠等)	審査庁業務を総務課が一元的に担うことにより、効率的に執行できている。 また、複雑な案件について、行政不服審査等囑託員(令和2年度からは行政不服審査等専門員)を活用するとともに、過去の実例を参考にしながら対応できている。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	審査庁業務は、迅速かつ公正な事務処理が求められるところ、個々の審査請求案件に多様性があり、複雑な案件への対応については慎重な検討が必要となることが多い。そのため、蓄積した実例や他市等の前例を活用して効率化を図るとともに、常にその正確さを検証しながら事務処理を行う必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	実例の蓄積を継続した。 事務処理において課内での検討を日常的に行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	事務処理の効率化、正確さの検証は、継続する必要がある。 また、市長以外の執行機関における審査庁業務がスムーズに行われるよう、支援のあり方を検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向								備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										